

市川 図書館だより No.116



2026. 1. 10

発行：市川市中央図書館 編集：広報委員会 〒272-0015 市川市鬼高 1-1-4 Tel. 047-320-3346

特集：作家の血縁関係 〈1.市川の文豪編〉

文章を創作する才能＝文才は生まれつきなのか、努力や環境によって文学的才能を伸ばせるのだろうか？
そんな疑問から、作家たちの親子関係、夫婦で物書き等、家族関係を探ってみました。

こうだろはん
幸田露伴



慶応 3(1867)年～昭和 22(1947)年。
江戸文学や漢籍への造詣が深く、日本近代文学を代表する作家。
代表作は、『五重塔』『運命』『風流伝』等。
東京文京区小石川の蝸牛庵を東京大空襲によって失い、信州や伊東に疎開した後、下総中山近辺に住んでいた門下生の土橋利彦(塩谷賛)の世話で、娘の文、孫の玉とともに、1946(昭和 21)年 1 月 28 日に移り住みます。
翌年、1947(昭和 22)年3月には、大正末から手掛けてきた『芭蕉七部集評釈』をようやく完成させ、同年7月30日、80歳の生涯を閉じました。

こうだあや
幸田文
(露伴の次女)

明治 37(1904)年～平成 2(1990)年。
父露伴の死後、回想文で文壇に登場。随筆家として大成。『菅野の記』では、死期の迫った父・露伴を看護する必死の姿が、描かれています。

あおきたま
青木玉
(露伴の孫)

昭和 4(1929)年～。
自伝的随筆『小石川の家』では、市川菅野の家での出来事や付近の様子を通して祖父への思いが綴られています。
“市川の白幡神社の裏の小川を渡ると雑木の生えた荒地があり、胡瓜や茄子とうもろこしが植えられた畑に沿って、小さな同じ形の家が二列に並んでいた。”

“空襲は容赦なくこの家(蝸牛庵)を焼き、私達は長野、伊豆、市川と二年四ヶ月を流浪し祖父を見送った。…”『手持ちの時間』p144

あおきな
青木奈緒
(露伴のひ孫)

昭和 38(1963)年～。エッセイスト、作家。翻訳も手がけます。
代表作は、『風はこぼ』『幸田家のきもの』等

幸田家…四代にわたる文筆家の家系は、市川の地で育まれたのかもしれません。

ながいかふう
永井荷風

明治 12(1879)年～昭和 34(1959)年。
東京文京区生まれ。耽美主義の反自然主義文学の中心的作家で、フランス文学者。1946(昭和 21)年 1 月より市川市に移り住み、1959(昭和 34)年 4 月 30 日に亡くなるまで、約 13 年間に渡り、市川に暮らしました。

たかみ じゅん
高見 順
(荷風の従兄弟)

明治 40(1907)年～昭和 40(1965)年。
無頼派の一人。代表作『故旧忘れ得べき』(1936)は、饒舌体と呼ばれる手法で書かれ第一回芥川賞候補作になります。

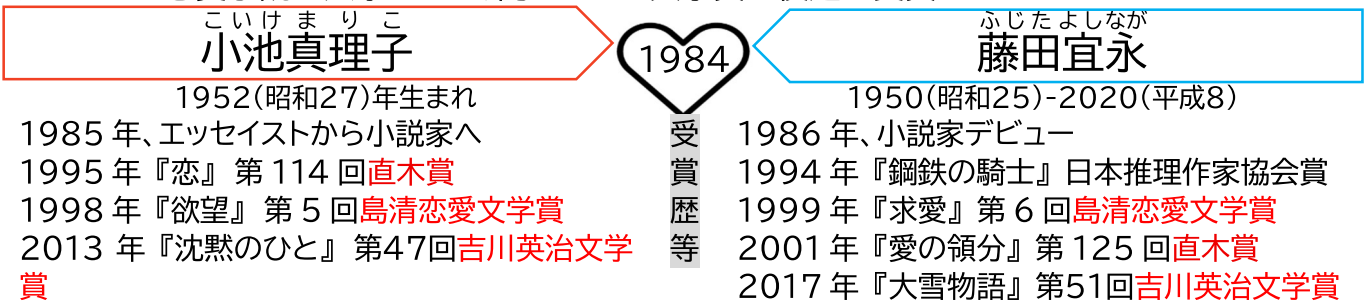
高見順の父である阪本^{さかもと}之助と永井荷風の父(永井久一郎)は兄弟です。

荷風の『断腸亭日乗』と並ぶのが『高見順日記』。昭和20年分をまとめた『敗戦日記』は、昭和史を知る貴重な資料です。荷風と高見順の従兄弟、どちらも記録文学の最高峰を極めたと言えるでしょう。

《2.夫婦で作家編》

…魅かれあい、切磋琢磨で新たな作品が生まれる？

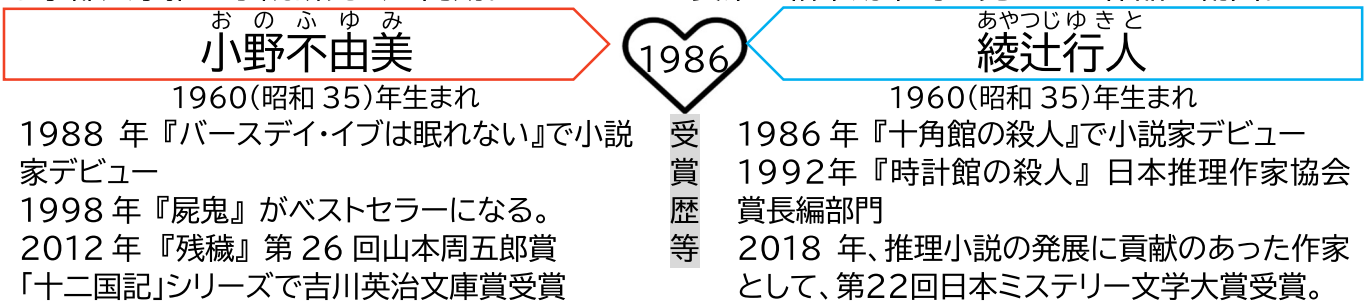
●お互いに恋愛小説の大家になり、同じような文学賞を後追い受賞！



『島清恋愛文学賞』って何だろう？

石川県美川町(現・白山市)が町村合併 40 周年を記念して、同町出身の大正時代のベストセラー作家、島田清次郎(明治32～昭和5年)にちなみ1994(平成6)年に創設。恋愛小説に限定した文学賞として注目を集め、直木賞作家で恋愛小説の大家・渡辺淳一氏が平成 25 年度まで選考委員長を務めました。現在、文学賞は金沢学院大学が主催しています。

●京都大学推理小説研究会の同期。互いにホラー要素の相乗効果が見られる作品を創出。



●同じ頃に推理小説でデビュー。



●漫画と歌人・文筆家の夫婦は仏教研究にも勤しみ、そして天才画家「岡本太郎」が生まれます！



↓ 書庫にある『岡本太郎著作集』『岡本一平全集』



●カトリックの夫婦作家



〈3.兄弟姉妹で作家編〉

●**兄妹で芥川賞受賞！** 1997 年上半期 NHK の朝ドラに取り上げられた家系です。

よしゆきじゅんのすけ 吉行淳之介 (1924-1994)	兄	1954 年『驟雨』で第 31 回 芥川賞 受賞 1970 年『暗室』で谷崎賞受賞 多数文学賞受賞歴のある「第三の新人」のひとり
よしゆき り え 吉行理恵 (1939-2006)	妹	1968 年『夢の中で』で田村俊子賞受賞 1981 年『小さな貴婦人』で第 85 回 芥川賞 受賞
？ クイズ① (1906-1940)	父	明治39年生まれのダダリスト※詩人。 妻は美容師吉行あぐり。 ※第一次世界大戦から戦後にかけて、欧米に展開された芸術及び文学上の運動

※クイズ①～④の答えは最後のページ下にあります。

●80 年代に活躍した兄弟作家。弟は、「ハードロマン」の作家

にしむらぼう 西村望 (1926-2022)	兄	1978 年『鬼畜』で 52 歳の遅咲きデビュー
？ クイズ② (1930-2007)	弟	1969 年にデビュー。動物小説、社会派ミステリ、バイオレンス小説等、幅広い作風を手がけてベストセラー作家に。 代表作は、『君よ憤怒の河を渉れ』『滅びの笛』『黄金の犬』『赤い鯨』など

●他の職業からの転向し兄妹で作家に

はらだむねのり 原田宗典 (1959-)	兄	コピーライターからエッセイストに 代表作は、『スメル男』『スバラ式世界』『吾輩ハ苦手デアル』など
？ クイズ③ (1962-)	妹	キュレーター※から作家に 代表作は、『楽園のカンヴァス』『ジヴェルニーの食卓』『リーチ先生』など。 2024 年『板上に咲く』では、棟方志功の青年期を描き、泉鏡花文学賞を受賞 ※美術館・博物館等の施設で、展覧会の企画運営を専門に行う職業

●小説家・佐藤紅緑の異母兄妹

サトウハチロー (1903-1973)	兄	詩人、作詞家、作家。 「ちいさい秋みつけた」の作詞で第 4 回日本レコード大賞童謡賞を受賞 歌謡曲や CM ソング、校歌など多数作詞。 「ジロリタン」シリーズなどの児童文学作品も手がけました。
さとうあいこ 佐藤愛子 (1923-)	妹	母は女優の三笠万里子 1969 年『戦いすんで日が暮れて』で第 61 回直木賞受賞 1979 年『幸福の絵』で女流文学賞を受賞 1987 年『こんなふうにならないうちに死にたい』で日本文芸大賞 2000 年、佐藤家を書いた自伝的大作『血脈』で菊池寛賞を受賞

●親子で直木賞受賞！さらに子供は双子の兄弟で作家に

しらいしいちろう 白石一郎 (1931-2004)	父	1987 年『海狼伝』で第 97 回 直木賞 受賞 1992 年『戦鬼たちの海』で柴田錬三郎賞受賞 1999 年『怒濤のごとく』で吉川英治文学賞受賞 双子の息子、白石一文・白石文郎とも作家として活動
しらいしかずふみ 白石一文 (1958- 双子)	子(兄)	1992 年にデビュー、2000 年に白石名義での『一瞬の光』で再デビュー 2009 年『ほかならぬ人へ』で第 142 回 直木賞 受賞
ふみお 白石文郎	子(弟)	1995 年『寵児』で作家デビュー、他に『風街』など

〈4.親子で作家編〉

●母娘で時代小説作家

さわだ 澤田ふじ子 (1946-)	母	1973 年、作家デビュー。 1982 年『陸奥甲冑記』『寂野』で吉川英治文学新人賞
さわだとうこ 澤田瞳子 (1977-)	娘	2010 年『孤鷹の天』で小説家デビュー。 2015 年『若冲』で新たな持論を展開し、ベストセラーになる 2021 年『星落ちて、なお』で直木賞受賞

●異母姉妹で作家。父は、文学史上でも有名な方です。

? クイズ④ (明治 42-1948)	父	昭和 8 年「思ひ出」「魚服記」でデビュー。 昭和 22 年『斜陽』『人間失格』『ヴィヨンの妻』等の長編小説を発表 昭和 23 年 6 月遺稿となる『グッド・バイ』発表後、玉川上水で入水自殺。
つしまゆうこ 津島祐子 (1947-2016)	娘	1977 年『草の臥所』で泉鏡花文学賞受賞 1998 年『火の山 山猿記』で谷崎潤一郎賞、野間文芸賞を受賞 そのほか代表作は『寵児』『葎の母』『光の領分』『風よ、空駆ける風よ』など 多くの文藝賞を受賞。
おおたはるこ 太田治子 (1947-)	娘	1985 年、母・静子の思い出を綴った『心映えの記』で坪田譲治文学賞を受賞 多くの美術書やエッセイ、童話等を手がける。

『』の作品名は初出で紹介しているため、単行本で所蔵していない作品があります。お読みになりたい場合はカウンターでご相談ください。

図書館からのお知らせ

NAXOS
MUSIC LIBRARY

NAXOS MUSIC LIBRARY
ナクソス・ミュージック・ライブラリー



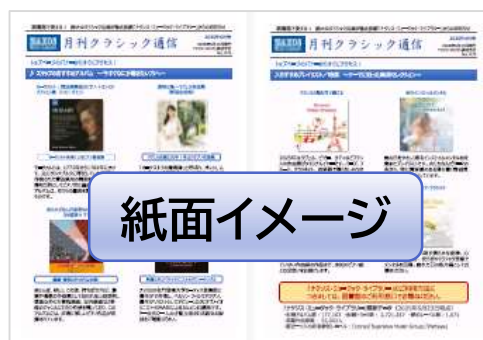
クラシックを中心に 200 万曲以上が揃っているインターネット上の音楽配信サービス
2025 年 7 月～利用できるようになりました。

貸出用の ID とパスワード(PW)を申請すれば、自宅のパソコンで楽曲を聴いて楽しむことができます。

→ID/PW の申込は、CD を所蔵する図書館(中央・行徳)および市川駅南口の図書館窓口 まで

ご注意:

- インターネットに接続されたパソコンと、Web ブラウザが必要です。スマホには対応していません。
- パソコンにダウンロードして保存したり、CD 等に録音したりすることはできません。
- 試聴期間は初回にログインしてから二週間となります。
- 対象は、市川市在住在勤在学の方となります。



紙面イメージ

『月刊クラシック通信』(PDF 形式)は、ナクソス・ミュージック・ライブラリーが毎月発行しています。とっておきの CD 8 枚が毎月紹介されています。

バックナンバーは、直接ウェブサイト

<https://ml.naxos.jp/Pages/MonthlyNML.aspx#BN>

にアクセスしてご覧ください。



?クイズの答え ①吉行エイスケ ②西村寿行 ③原田マハ ④太宰治

発行:市川市中央図書館